

中国の預金準備率引き下げについて

<預金準備率を0.5%引き下げ>

5月12日、中国人民銀行(中央銀行)は預金準備率の0.5%引き下げを発表しました(実施は5月18日から)。預金準備率の引き下げは、2011年11月、2012年2月に続き3度目となります。

公表ベースで計算すると、大手行の預金準備率は20%となります。なお、非公表で個別に預金準備率の引き上げ・引き下げが行われていると伝えられているため、各銀行に適用されるレート等の詳細は不明です。

先週発表された4月の経済指標は、鉱工業生産や輸出入が鈍化するなど総じて減速方向にあり、準備率引き下げ決定を後押ししたものと見られます。

<中国元の状況>

中国元は一昨年来緩やかな元高政策が維持され、対米ドルで高値を更新していましたが、今年に入り景気減速等から概ね横ばいで推移しています。

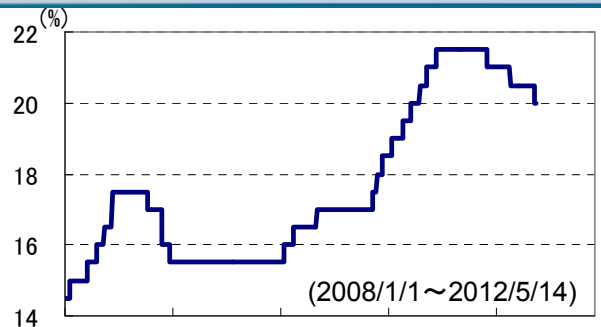
14日東京時間13時現在の中国元は、1米ドル＝6.317円(4月末比▲0.6%)、対円では、1元＝12.7円(同▲0.3%)程度の元安となっています。

<中国経済と金融政策の見通し>

当社では、中国経済は減速しながらも個人消費などの内需を中心に引き続き底堅く推移すると考えています。経済指標は前年比減速を示しているものの依然水準は高く、今後成長率は底入れし年後半に向けて持ち直していくと見えています。

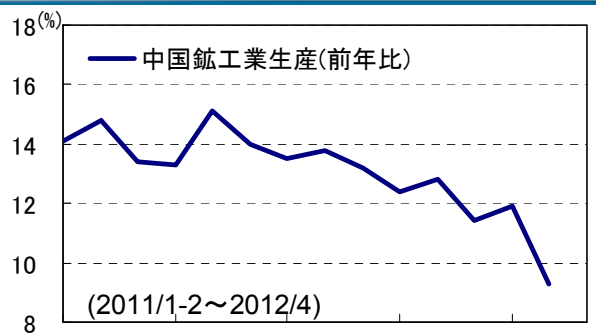
足元では景気鈍化傾向が続いているため、政府当局は今後も金融緩和姿勢を維持するものと見られます。先行きの利下げを視野に入れつつ当面は預金準備率の引き下げを継続すると考えます。

<預金準備率(公表ベース*)の推移>



08年 09年 10年 11年 12年
*注: 中国人民銀行公表分のみ、対象・期間限定のものは除外
出所: 中国人民銀行

<鉱工業生産は伸び率鈍化>



11/1～2 11/5 11/8 11/11 12/3 出所: Bloomberg L.P.

<中国元為替の推移>



- この資料は具体的な商品をご説明するものではないため詳細を記載しておりませんが、元本保証のないリスク性商品のご購入やご売却、保有にあたっては、手数料等をご負担いただきます。
- リスク性商品には、各種相場環境等の変動により、投資した資産の価値が投資元本を割り込むなどのリスクがあります。
- リスク性商品中途解約する場合は、ご購入時の条件が適用されず不利益となる場合があります。
- 詳しくは三井住友銀行本支店等にご用意してある各商品の説明書を必ずご覧ください。

■当資料は情報提供を目的として大和住銀投信投資顧問が作成したものであり、特定の投資信託・生命保険・株式・債券等の売買を推奨・勧誘するものではありません。
■当資料は各種の信頼できると考えられる情報源から作成しておりますが、その正確性・完全性を保証するものではありません。■当資料に記載されている今後の見通し・コメントは、作成日現在のものであり、事前の予告なしに将来変更される場合があります。■当資料内の運用実績等に関するグラフ、数値等は過去のものであり、将来の運用成果等を約束するものではありません。■当資料内のいかなる内容も、将来の市場環境の変動等を保証するものではありません。



三井住友銀行

株式会社三井住友銀行
登録金融機関 関東財務局長(登金)第54号
加入協会 日本証券業協会・一般社団法人金融先物取引業協会、
一般社団法人第二種金融商品取引業協会



大和住銀投信投資顧問

Daiwa SB Investments

大和住銀投信投資顧問株式会社
金融商品取引業者 関東財務局長(金商)第353号
加入協会 社団法人投資信託協会、社団法人日本証券投資顧問業協会